

平成 27 年度 大雪山国立公園における主な活動実績

地域戦略プロジェクト

■ 自然観察会

- 1 目的：山岳トイレや登山道侵食等の問題を認識するという環境保全意識の醸成を図り、高山植物や広大な風景などの魅力も P R する自然観察会を実施する。
- 2 対象：登山初心者を中心とした一般公園利用者
- 3 実施内容：高山植物・山岳トイレ・登山道の荒廃等についての事前レクチャー・施設概要説明・維持管理作業及び啓発活動等の実施など、
環境保全を中心とした山岳ツアー
- 4 実施結果：下記表のとおり（アンケート結果、実施写真は別添参照）

	コース	実施日	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数	実施人数			
							一般人数	ガイド 対応職員数	広告掲載日	
①	富良野岳往復コース	6/27(土)	6/2(火)～6/16(火)	10	23	10	14	10	中川伸也氏 職員3名	ライナー6/2 ライナー追加記事6/9
②	旭岳姿見の池・中岳温泉周辺コース	7/18(土)	6/23(火)～7/3(金)	10	13	10	14	9 (1人キャンセル)	佐久間弘氏 職員4名	ライナー6/23 ライナー追加記事7/7
③	美瑛富士往復コース	8/8(土)	7/14(火)～7/24(金)	10	20	10	15	10	双樹智道氏 職員4名	ライナー7/14
④	黒岳・お鉢平展望台コース	9/12(土)	8/18(火)～8/28(金)	10	38	11	14	10 (1人キャンセル)	濱田耕二氏 職員3名	ライナー8/18
⑤	天人峡第一公園コース	9/26(土)	9/1(火)～9/11(金)	10	19	10	12	8 (2人キャンセル)	大塚友記憲氏 職員3名	ライナー9/1 ライナー追加記事9/11
⑥	天人峡くるみの沢スノーシュー	1/23(土)	12/15(火)～1/5(火)	10	-	-	-	-	鳥羽晃一氏 職員 - 名	ライナー12/15予定
合計				60	113	51	69	47	22	-

※ 配布物・資料：携帯トイレ、パンフレット等（大雪山国立公園連絡協議会作成「登山者の皆さまへ」、道作成「高山植物を守るために」「山の環境について知ってほしいこと」、山のトイレを考える会作成「山のトイレマナーガイド」「山のトイレマップ」「美瑛富士では携帯トイレを使いましょう」）

※ ツアーの募集及び実施状況の詳細については、上川総合振興局 H P（下記アドレス）でも掲載しています

<http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kks/taisetuzann.htm>

■ 普及啓発資料の配布

- 1 目的：環境保全意識の高揚を図るため、自然環境保全に係る普及啓発資料を配布する。
- 2 対象：一般公園利用者
- 3 配布物：携帯トイレ及び環境保全に関連するパンフレット等
- 4 実施結果：ビジターセンター、ロープウェイ駅舎等の山岳関係施設及び各登山道並びに山岳関係イベント時において携帯トイレ及びパンフレット等を配布した。
(道作成「高山植物を守るために」「山の環境について知ってほしいこと」、山のトイレを考える会作成「山のトイレマナーガイド」「山のトイレマップ」)

■ 登山道保全技術セミナー

- 1 目的：利用者の増加や降雨等により登山道の浸食及び荒廃が進んでおり、環境保全及びそれらによる事故の可能性を軽減するという点も踏まえて登山道保全技術セミナーを行う。
- 2 共催：山楽舎 BEAR
- 3 対象：山岳会、関係行政機関等の山岳関係者及び一般公園利用者
- 4 講師：岡崎 哲三 氏（北海道山岳整備代表）
- 5 内容：旭岳姿見の池園地歩道補修を通して講師から保全技術を学び、今後の補修へつなげる。
- 6 実施結果：下記表のとおり

場所	実施日	募集期間	募集人数	実施人数			
				山岳関係者人数 (振興局 取りまとめ)	一般人数 (山楽舎BEAR 取りまとめ)	同行人数	
姿見の池付近登山道	9/6(日)	8/3(月)~8/29(金)	25程	22	8	10	講師1名 職員2名 山楽舎BEAR スタッフ1名

例年実施しているもの

■ 高山植物保護対策事業（高山植物盗掘防止パトロール及び監視活動）

	実施場所	実施日	協力者(局以外)	合計人数	備考
①	富良野岳		山岳ガイド、一般登山者	14	上記自然観察会と兼ねて実施
②	天塩岳～前天塩岳		上川北部森林管理署、士別市、朝日山岳会	5	-
③	姿見の池～裾合平～中岳温泉		山岳ガイド、一般登山者	14	上記自然観察会と兼ねて実施
④	銀泉台～赤岳～小泉岳		環境省上川自然保護官事務所、上川中部森林管理署、 日本山岳会北海道支部、自然保護監視員	7	-

■ 自然公園施設維持管理

自然公園内に所在する北海道管理の各種施設（公衆トイレ・避難小屋(トイレ含む)・登山道ほか）について、適宜維持管理を実施。

参考① 平成 27 年度黒岳トイレ維持管理

供 用 期 間：6/25(木)～10/1(水) ※最終日はヘリによる尿尿荷下げ及び翌年度資材荷上げ
 清掃(汲み取り)回数：6回(7/16、7/28、8/12、8/25、9/12、10/1)

参考② 協働型登山道補修作業（振興局・林野庁・環境省 3 者主催で関係機関・一般登山者との協働）

7/27～28 雲の平地区登山道補修作業 参加者のべ 39 名
 8/1 大雪高原温泉沼巡りコース荷上げ登山及びヒグマレクチャー 参加者 21 名
 8/29～30 北海岳クジャク岩登山道補修作業 参加者のべ 27 名

■ 自然公園利用者指導

自然公園利用者に対し、適正な公園利用や環境保全意識の理解促進を促すため、次のとおり実施するとともに、必要に応じ職員による指導業務を実施。
 （高原温泉地区利用者指導業務（受託者：風の便り工房）、旭岳ビジターセンター管理運営委託業務（受託者：東川町）等）

※ H27 は忠別岳避難小屋に自称管理人を名乗り、当該小屋を長期に占有使用する事例あり。

このため、現地に赴き、避難小屋に管理人はいない旨の掲示を行ったほか、該当者に対し適正な公園利用について指導を実施。

また、本件については、大雪山連絡協議会のホームページ（フェイスブックも）や関係機関等のホームページを活用し、当該避難小屋の利用に係る注意喚起を行い、幅広い情報提供を実施した。